

□ 地域住民等と連携して災害対応を行い、事業者として「共助」に取り組みましょう。

災害が発生した場合に備えて、事業者は地域の重要な構成員として、周辺の事業者や住民等と連携した「共助」に積極的に取り組むことが望まれています。事業者の「共助」への取り組みは、地域における被害拡大を最小限に防ぐため、社会的に果たすべき努めとして期待されるだけでなく、事業所の被害軽減や社会的な評価につながります。



● 地域との連携

地域住民と協力して災害対応を実施するためには、日頃から、町会・自治会等が開催する防災訓練に参加したり、消防団に加入したりするなど、防災活動を通じた交流が大切です。互いに信頼し、助け合える関係づくりを心がけましょう。

- 【災害時における事業者の防災活動例】
- ・地域支援のボランティア活動に参加する
 - ・地域の救出・救護活動に協力する
 - ・復旧作業などに活用できる資器材を提供する



▶ 地区総合防災訓練 事業者の取り組み紹介

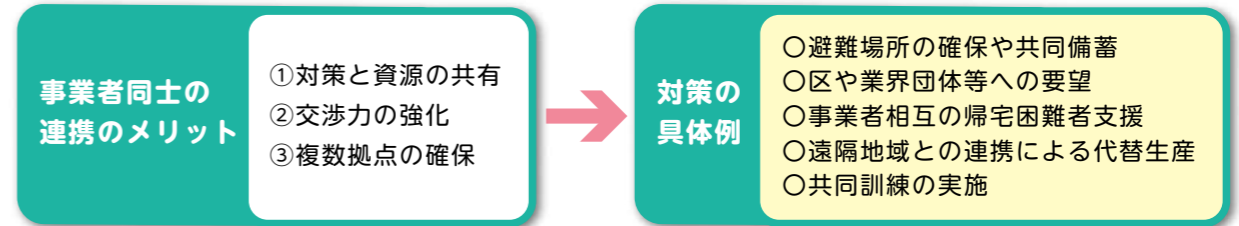
地域と事業者の新たなつながりを創出し、共助のつながりをより強固なものにするを目的に、各地区で防災協議会が主催する防災訓練が実施されています。事業者は、キッチンカーや給電車両の展示等様々な防災に関わるブースを出展しています。



● 事業者同士の連携

自社の事業継続力強化の取り組みを進めていくと、地域として取り組むべき平時からの事前対策や有事への対応など、個社では解決できない事項が明確になっていきます。こうした事項についても、近隣事業者と連携することで解決でき、お互いの事業復旧を早めることにもつながっていきます。

災害が発生しても、事業活動を継続的に行い、地域産業・地域雇用の維持が図られるように、日頃から、地域内外の事業者が集まり、具体的な対策を検討することが大切です。



▶ 区、事業者、地域の三者訓練 事業者の取り組み紹介

災害時に協力し合う関係の構築

事業者の震災対策の強化と地域との連携を図ることを目的に、品川第二地域防災対策三者連絡会議主催の防災訓練が平成19年からほぼ毎年実施されています。



● 事業者間の関係構築につながる取り組み

品川区では、災害時に発生するターミナル駅周辺の滞留者および帰宅困難者ならびに帰宅支援対象道路沿線の徒歩帰宅者を支援するため、地域の住民、事業者、各種団体および防災関係機関が対策・体制を検討するための協議会を設置しています。

協議会では、グループディスカッションを取り入れ、平時から顔の見える関係性を築くとともに、活動場所の立ち上げや、区と構成員間で情報を共有するツールの操作習熟など、災害時に備え訓練等を行っています。

- ・国道15号徒歩帰宅者支援対策協議会
- ・目黒駅周辺帰宅困難者対策協議会
- ・大井町駅周辺帰宅困難者対策協議会
- ・大崎駅周辺帰宅困難者対策協議会
- ・五反田駅周辺帰宅困難者対策協議会

お問い合わせ 品川区防災課 避難体制係
TEL:03-5742-6941



II 行政と連携した災害対応

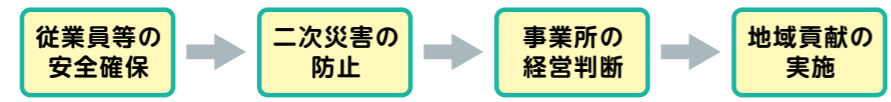
共助

□ 平時に構築した連携体制を活かし、行政と連携した災害対応も積極的に実施しましょう。

災害が発生した直後は、警察、消防、自衛隊などによる救出・救護活動だけでは対応しきれません。住民や事業者における「自助」「共助」の取り組みが極めて重要です。

● 行政との連携

事業所は、従業員等の安全を確保した上で、周辺地域の状況などを勘案して、その時に出来る範囲で行政との連携を行います。



～行政との連携に関する取り組み紹介～

● 災害時協定

大規模な地震や風水害などの災害時には、マンパワーの不足や、施設・設備の故障、破損が生じて、被災自治体の災害対応に支障をきたすことが多々あります。そのため、防災に係る「公助の限界」を補う取り組みとして「災害時協定」の締結が進められています。

事業者にとっても、災害時に行政と連携して復旧活動に取り組むことで、地域経済の早期回復や地域における自社の信頼向上につながることを期待できます。

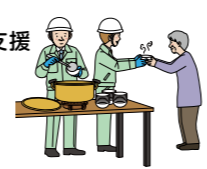
組織力を活かす！

事業者の多彩なマンパワーを、組織的に提供し、地域の安全を守る！

事業者においては、多くの従業員等が施設に留まっていることもあり、救出・救護活動、負傷者等の搬送、消火活動、避難誘導、物資の輸送などに心強い助けになります。

組織力の例は...

- ・災害時要援護者への支援
- ・避難所の運営支援
- ・炊き出しの実施
- ・がれきの除去、清掃
- ・警備



取り組み事例

【株式会社シンクロ・フード】
【一般社団法人日本キッチンカー経営審議会】
災害時には、避難所等において炊き出しを実施し、温かい食事を提供します。

資材力を活かす！

日常業務で使用している資機材を、救助や救援などの応急対策に役立てる！

事業者が、日常の業務で使用している資材、機材、商品などは、救出・救護活動、負傷者の搬送、物資の輸送、物資の供給などに役立てることもできます。

資材力の例は...

- ・ジャッキ
- ・フォークリフト
- ・重機
- ・建設資材
- ・台車
- ・トラック等の運搬車両
- ・待機スペース



取り組み事例

【東京都トラック協会品川支部】
災害時には、区民避難所、補完避難所等の避難所へ支援物資を輸送します。

技術力を活かす！

日常業務で培った知識や技術を、災害時の応急対策に役立てる！

事業者が持っている医療、介護、土木、運輸、通信などの専門知識や専門技術は、災害時においても非常に重要な役割を担います。

技術力の例は...

- ・道路等損壊箇所の応急措置
- ・衛生管理
- ・介護支援
- ・放送設備の提供
- ・技術者・作業員の派遣



取り組み事例

【品川建設防災協議会】
協力隊による区立施設・道路等の応急補修や、応急仮設住宅の建設等を行います。

▶ 一時滞在施設の協定締結

一時滞在施設は、災害発生時に観光や買い物などで区を訪れていた、行き場のない帰宅困難者を一時的に保護するための施設です。

品川区では、帰宅困難者対策として一時滞在施設の確保を進めています。さらなる一時滞在施設確保のため、区内事業者の皆様のご協力をお願いします。

お問い合わせ 品川区防災課 避難体制係
TEL:03-5742-6941